

万葉朗唱合同練習会

9月18日（木）16時20分、万葉歴史館で、10月に行われる高岡万葉祭りで万葉集を朗唱する1年生3人が、伏木高校の生徒と合同練習を行った。

まず最初に、万葉歴史館の坂本館長さんから、古事記や万葉集の歌の多くが五七調であること、区々の区切り方によって歌の意味が変わることなどを丁寧に説明していただいた。

朗唱の際には、ついつい七五調で歌ってしまう傾向にあるが、意味に沿って、自由に歌うことの大切さを教えていただいた。



講演の後、万葉歴史館前で、伏木高校の生徒とともに、朗唱の練習を行った。

3人が朗唱する歌は次の2首

2455 我がゆゑに 言はれし妹は
高山の 嶺の朝霧 過ぎにけむかも

2456 めばたまの 黒髪山の 山菅に
小雨降りしき しくしく思ほゆ



今回の練習の成果を生かして、10月4日の万葉祭りでも、古を忍びながら、万葉集を朗唱してほしいと思う。